

僧侶派遣の現状と背景を追う <4>

埼玉県熊谷市 寺院運営

善友会



橋本英樹住職

埼玉県熊谷市郊外にある曹洞宗見性院は、「江戸時代以来お寺を支えてきた檀家制度が、今やお寺を滅ぼす元凶」との考えに立つ橋本英樹住職(51)が2012年に檀家制度を廃止し、信徒による「会員制寺院」に生まれ変わった。信徒は寄付や護持会費、墓地の年間管理料を負担する必要はなく、仏事のお布施も明示している。「みんなのお寺」と銘打ち、各種メディアにも大きく取り上げられた。

見性院が事務局になり発足した「善友会」という組織がある。超宗派僧侶による研修の会だが、単なる親睦会にとどまらない実践も行っている。その一つが「お坊さん紹介」、すなわち僧侶派遣だ。「今までの僧侶派遣業者と違い、僧侶自身が運営しておりますので紹介料等は一切不要です」と明言している。仏教各

お布施も「明朗会計」だ。同会ウェブサイトに「(俗名(戒名なし))の場合だと導師1人で10万円から、3人だと20万円からとしている。一日葬儀(告別式・火葬前供養)だとさらに安い。法事は3万円からだ(いずれも車代は別途)。」かつては10社ほどに登録

実は、橋本住職自身も派遣僧侶だった。かつては檀家400軒(現在は信徒800軒)の見性院だったが、副住職時代の月給は10

万円。「とても月給だけではやりたいことができない」ために、僧侶派遣業者10社ほどに登録していた。記憶に残っているのは施主から渡された80万円のお布施が、業者を経て自分の手元に来た時は25万円になって

調。善友会のお坊さん紹介は「やる気のある僧侶への奨学金というつもりです」と語る。檀家滅に悩んでいた住職が派遣で全国に活躍の場を見出し、寺庭婦人から「一生の恩人」と感謝されたこともある。

では、善友会は年間どのくらい法務を派遣で実施しているのか。橋本住職によれば「昨年は20件から30件ほどでしょうか」とのこと。現在のアクティブな会員が約50人だというから、1年に1度も法務が紹介さ

参加者に共通して見られるのはお布施の「高額化」への懸念だ。「私は恵まれなにお坊さんのお布施を35円のお布施でやったことがありませんよ(高野山真言宗住職)、「お布施にとらわれすぎてはダメ。江戸時代、三途の川の渡し賃は六文銭だった。現代だと90円です。最低それでいいんです。心がわかってる人なら90円でも立派な葬儀をしますし、ぞんざいに故人を扱う人なら100万円でも絶対にやりません」(浄土宗住職)。僧侶の側もお布施への意識を変えようとしている。こういった動きを有志寺院の活動だけに留めるのではなく、教団等が応援していくことも必要であろう。

お布施は全額が執行僧侶へ

見性院で行われた善友会の研修会(1月24日)には曹洞宗、浄土宗、本願寺派、木辺派、高野山、豊山派、単立の僧侶と業者や信徒ら約20人が参加。自衛隊を退官後に出家した老僧もいれば、寺院を持たない青年僧もいる。大阪で僧侶紹介「お寺さんの会」の活動をしている西条寺からも参加していた。橋本住職も西条寺に相談に通ったという。

お布施の高額化を懸念

見性院で行われた善友会の研修会(1月24日)には曹洞宗、浄土宗、本願寺派、木辺派、高野山、豊山派、単立の僧侶と業者や信徒ら約20人が参加。自衛隊を退官後に出家した老僧もいれば、寺院を持たない青年僧もいる。大阪で僧侶紹介「お寺さんの会」の活動をしている西条寺からも参加していた。橋本住職も西条寺に相談に通ったという。



超宗派僧侶が参加した研修会の様子(1月24日)

いたこと。僧侶派遣の重要性はひしひしと感じており、「お坊さん便」の備いれびには賛同、自らも登録した。だが、そういった業者主導とは一線を画す。完全ボランティアを謳い、マージンは一切受け取らず、全額が派遣された僧侶のものになる。あくまでも僧侶の資質を高めるための会だからだ。このマージンなしには理念がある。駒澤大学に通っていた頃、ある大利の寮に入って衣食住や法務の世話を受けていたことに今でも感謝する橋本住職だが、「そのお寺は今では寮を廃止してしまいました」と残念がる。志ある若い僧侶を育てることが大切だと強

檀家制度やめた見性院 今月、関西善友会発足

見性院で行われた善友会の研修会(1月24日)には曹洞宗、浄土宗、本願寺派、木辺派、高野山、豊山派、単立の僧侶と業者や信徒ら約20人が参加。自衛隊を退官後に出家した老僧もいれば、寺院を持たない青年僧もいる。大阪で僧侶紹介「お寺さんの会」の活動をしている西条寺からも参加していた。橋本住職も西条寺に相談に通ったという。

参加者に共通して見られるのはお布施の「高額化」への懸念だ。「私は恵まれなにお坊さんのお布施を35円のお布施でやったことがありませんよ(高野山真言宗住職)、「お布施にとらわれすぎてはダメ。江戸時代、三途の川の渡し賃は六文銭だった。現代だと90円です。最低それでいいんです。心がわかってる人なら90円でも立派な葬儀をしますし、ぞんざいに故人を扱う人なら100万円でも絶対にやりません」(浄土宗住職)。僧侶の側もお布施への意識を変えようとしている。こういった動きを有志寺院の活動だけに留めるのではなく、教団等が応援していくことも必要であろう。